再評価個表

事 業 名	農村集落基盤再編整備事業 （中山間地域総合整備型）	**事業主体**	愛媛県
施設･工区名等	鬼北（きほく）・松野地区（まつのちく）	**事業箇所**	鬼北町、松野町の全域
事業主旨	本事業は地形的条件の不利な中山間地域において、農業を中心とした活性化に意欲のある地域を対象に、農業生産と生活環境の基盤整備を総合的に実施し、中山間地域の農業・農村の振興を図るものである。 本地区では、農業生産基盤の整備として、老朽化したため池や農業用水路の改修、狭小な農道の拡幅を総合的に実施することにより、安定した農業用水の確保や用水施設の維持管理の軽減、生産性の向上を図るとともに、農地や集落の災害を未然に防止する。 また、生活環境基盤の整備として、集落排水路の整備や防火水槽の整備により、集落の安全性向上を図ることとしている。		
再々評価の実施理由	「再評価実施後５年が経過して継続中」の交付金事業		

１．地域の概要

本地域は、宇和島市の東に位置し、1,000m 級の山地に囲まれた平均標高約 150m の盆地で、中心部を四万十川の支流である広見川が流れている典型的な中山間地域である。

本地区の農業は、総じて零細な経営規模であり、農業所得の減少、農業従事者の兼業化・高齢化に伴う後継者不足などが地域の課題となっている。また、耕作放棄地の増加や用水施設の老朽化が進行しており、豪雨や地震の発生が危惧されているなか、施設の損壊等による下流農地や人家等への災害も懸念されている。

２．事業概要及び事業経緯

事業採択	平成２４年度	**完成予定**	令和９年度（予定）
用地着手	平成２５年度	**工事着手**	平成２５年度
全体事業費	１，６０３百万円(うち用地費：３９百万円)		
(1)事業概要	≪農業生産基盤≫　受益面積 178.9ha ① 農業用用排水施設（水路、揚水機）　８箇所　延長 7,612m ② 農道　１箇所　延長　347m ③ 農地防災（ため池）　６箇所 ≪生活環境基盤≫ ④ 農業集落排水施設（集落排水路）　１箇所　延長　476m ⑤ 農業集落防災安全施設（防火水槽）　４箇所		

(2) 事業経緯	平成２４年度　事業採択 平成２５年度　用地着手、工事着手 平成２７年度　水路２箇所、ため池１箇所完成 平成２８年度　ため池１箇所完成 平成２９年度　揚水機１箇所、ため池１箇所完成 平成３０年度　ため池１箇所完成 令和　２年度　水路１箇所、ため池１箇所、防火水槽４箇所完成 令和　３年度　農道１箇所完成 令和　５年度　水路２箇所完成 令和　６年度　水路１箇所、集落排水路１箇所完成

３．事業の必要性及び整備効果等

（１）事業の必要性（整備効果）

①農業用用排水施設（水路、揚水機）

既存用水路のコンクリートの劣化など老朽化による漏水が著しく、安定した農業用水の確保や適正な水管理が困難な状況となっていることから、早急な改修が必要となっている。

【整備効果】

○安定的な農業用水の確保　　○維持管理の軽減

②農道

本地域の農道は、幅員が 1.8～2.5m 程度と狭く、未舗装で、軽四トラックでの離合が困難であることや路面補修などに多大な労力を要していることから道路を拡幅し、舗装を行う。

【整備効果】

○営農にかかる輸送費の節減　　○収穫物の荷傷みを防止する効果

③農地防災（ため池）

堤体からの漏水や、集中豪雨・波浪等による堤体の侵食が進み、決壊の恐れがあるため池について、下流域の人家や農地への災害を未然に防止するため、全面改修を行う。

【整備効果】

○災害の防止　　○安定的な農業用水の確保　　○維持管理の軽減

④農業集落排水施設（集落排水路）

本集落内の水路は狭小で豪雨時には氾濫し、隣接する農地や住居が被災する恐れがあることから、水路断面拡大等により通水機能を改善し、安全で快適な集落環境を構築する。

【整備効果】

○集落の冠水被害の防止

⑤農業集落防災安全施設（防火水槽）

防火水槽を設置し、火災発生時における迅速な初期消火への対応を図る。

【整備効果】

○住民の生活財産の保全

（2）事業を巡る社会経済情勢等の変化

平成 30 年７月の西日本豪雨では、本県でも多くの農地、農業用施設が被災したことや、今後発生が予想されている南海トラフ巨大地震による甚大な被害が懸念されていることから、ため池等の安全性について住民の関心が高まっている。

４．事業の進捗状況及び進捗の見込み

（うち用地費） Ｒ７末投資事業費	（３９百万円）［進捗率：１００％］(事業費換算) １，４７６百万円　［進捗率：　９２％］(事業費換算)

（1）事業の進捗状況

令和７年度までに、

① 農業用用排水施設　　７／８箇所（延長 6,937m）
② 農道　　１／１箇所（延長　 347m）
③ 農地防災（ため池）　　５／６箇所
④ 農業集落排水施設　　１／１箇所（延長　 476m）
⑤農業集落防災安全施設　　４／４箇所

が工事が完了している。

（2）これまでの整備効果

① 農業用水施設の整備により、安定的に農業用水が確保されるとともに、水管理など日常の管理が容易となり農家負担が軽減された。
② 農道の整備により、農産物や農業用資材等の運搬や通作の円滑化が図られ、営農及び維持管理労力が軽減された。
③ ため池の改修により、安定的に農業用水が確保されるとともに、決壊や洪水の恐れがなくなり、地域住民の安全・安心が確保された。
④ 農業集落排水施設の整備に伴い、排水路の断面拡大等より溢水氾濫の恐れがなくなり、地域住民の安全・安心が確保されるとともに、維持管理労力が軽減された。
⑤防火水槽の整備に伴い、居住区域での迅速な初期消火対応が可能となった。

（3）今後の事業進捗の見込み

【残事業】

① 農業用用排水路　　１／８箇所（延長 675m）
② 農地防災（ため池）　１／６箇所

用排水路１箇所（永野市水路）については、令和８年度に工事完成予定である。
ため池１箇所（西谷池）については、令和９年度に工事完成の見込みである。

５．事業の投資効果（費用対効果分析）

（１）費用便益比

Ｃ：総費用＝２，９９１百万円

・当該事業による費用　２，５１４百万円

・その他経費　４７７百万円

Ｂ：総便益＝６，１８９百万円

・作物生産便益	２，１６６百万円	・営農経費節減便益	△１１４百万円
・災害防止便益	３，５６１百万円	・維持管理節減便益	△１６３百万円
・走行経費節減便益	１２４百万円	・品質向上便益	６百万円
・国産農産物安定供給便益	４５９百万円	・災害時応急対策便益	１３４百万円
・生活環境改善便益	１６百万円		

Ｂ／Ｃ＝６，１８９／２，９９１＝２．０７

６．コスト縮減、代替案立案等の改善

・水路工事、農道工事、ため池改修工事において、仮設道路の盛土材に建設発生土を活用しコスト縮減を図っている。

・ため池改修工事の法面保護工において、人力施工の張ブロックから機械施工が可能なブロックマット・布製型枠へ変更することで、施工にかかる費用と工期を縮減する。

７．そ　の　他

・愛媛県総合計画において、「施策 17：農林水産業の生産振興」に本事業を位置付けている。

・えひめ農林水産業振興プラン 2026 において、農業を支える農村の活性化や環境の整備を行う地域づくりの施策として「防災・減災対策の推進」及び「農村の活性化と持続的発展」に本事業を位置付けている。

８．対応方針（素案）

本事業を『継続』としたい。